

最近の完成工事から

輪島港マリンタウンの完成

石川県奥能登土木総合事務所

1 事業の目的と経緯

輪島港は能登半島の北部に位置し、周辺には「輪島朝市」や「輪島塗会館」が立地するなど、一帯は能登の重要な観光拠点として賑わっています。しかしながら、古くからの港町でもあること等から、イベント広場や駐車場が不足するなど、交流を創出する場として課題を抱えていました。

こうした問題の解消と、港を中心とした魅力あるまちづくりを目的として、石川県と輪島市が連携し、平成5年度より「輪島港マリンタウンプロジェクト」を推進してきました。

この度、22年間の事業期間を経て完成・供用しましたので、その内容について報告します。



図 - 1 輪島港マリンタウン位置図

2 事業の概要

「輪島港マリンタウンプロジェクト」は埋立て整備を基盤とし、新たな海の玄関口となる旅客船岸壁、イベント利用が可能な観光交流施設、隣接する緑地、駐車場、競技場、住宅用地などを一体的に整備することで、交流人口の拡大と、漆文化と潮の香りのする観光都市の形成を図っています。

・事業期間 平成5年度～平成26年度 / ・全体面積 A=18.7ha

石川県	旅客船岸壁 (-7.5m)	L=220m	H22	完成
	護岸	L=651m	H23	完成
	緑地	A=4.3ha	H26	完成
	ふ頭用地	A=0.5ha	H22	完成

輪島市	観光交流施設	A=1.8ha	H21	完成
	住宅用地	A=2.6ha	H22	完成
	競技場	A=2.4ha	H23	完成
	ポートパーク	A=0.9ha	H23	完成
	交流拠点施設 (輪島キリコ会館等)	A=1.7ha	H26	完成



写真 - 1 事業の前後対比写真

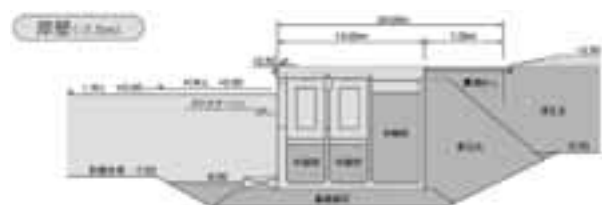


図 - 2 旅客船岸壁 (-7.5m) 標準断面図



写真 - 2 マリンタウン全体図

3 整備効果

(1) 海の玄関口（旅客船岸壁）

海の玄関口となる旅客船岸壁の整備により、2万トン級のクルーズ船が接岸可能となりました。岸壁が平成22年度に供用してから昨年度までに、「にっぽん丸」などのクルーズ船が17隻寄港しています。今年度も5隻が入港を予定しており、観光振興に大きく寄与しています。クルーズ船の寄港時には、数千人の市民や大漁旗をなびかせた漁船による歓迎、見送りが行われており、そのことが高い評価を受け、「ポートオブザイヤー2010（輪島港が受賞）」、「クルーズオブザイヤー2010特別賞（輪島市が受賞）」を受賞しています。



写真 - 3 市民総出の歓送迎



写真 - 4 朝市音頭でおもてなし



写真 - 5 客船から岸壁を望む

(2) イベントスペース（観光交流施設・緑地）

観光交流施設を中心としたイベントスペースは、「輪島市民まつり」「輪島あわび祭り」「輪島大祭」「輪島かに祭り」など、市内で行われる大規模なイベントの際に活用され、訪れた観光客と地元の人・モノが交流し、地元の賑わいと活性化に大きく寄与しています。

(3) 輪島キリコ会館（交流拠点施設）

交流拠点施設にオープンした「輪島キリコ会館」には、大小様々なキリコが展示されており、能登の祭り文化を体感することができます。今年4月と5月の入館者数は前年同月比で約3倍に増えており、輪島の新たなシンボルとして観光誘客に大きく貢献しています。



写真 - 6 イベント開催状況



写真 - 7 立ち並ぶ雄大なキリコ

4 完成式典

3月29日には、谷本知事や梶輪島市長をはじめ、地元の関係者など100名余りの方々の出席のもと、完成式典が盛大に執り行われました。式典では、御陣乗太鼓の演奏やキリコの練り歩きなどが披露され、完成を祝いました。



写真 - 8 太鼓奏者との記念撮影



写真 - 9 記念植樹の様子



写真 - 10 練り歩くキリコ

5 おわりに

北陸新幹線の金沢開業や能登の輪島を舞台としたNHK連続テレビ小説「まれ」の放映効果も相まって、輪島をはじめとした能登全体が、今後ますます発展していくことを期待し完成の報告とさせていただきます。また、この場を借りまして、多大なるご尽力をいただきました関係各位に、心から感謝申し上げます。